

## 第 52 回中日東海ブロックオリエンテーリング大会

兼 静岡県民大会 兼東海選手権大会

2010年12月5日(日) 静岡県 浜北森林公園

小野 盛光

伝統の中日新聞社主催大会。  
東海4県持ち回りで続けられ  
開催今年は52回目の大会と  
なった。

静岡県浜松市の浜北森林公園は浜松市中心地から北へ約15km。旧浜北市にあり、南側を豊橋市と掛川市を結ぶ天竜浜名湖鉄道が走っている。

公園はかなり深い沢がいくつもあり、斜面はしだに覆われ走り難いところが多い。そういう中にも、森を満喫できる箇所はいくつもあり、それらをうまくつないで、各クラスに合ったコースを組み立てていた。

通常は名古屋にある中日新聞社がこの大会の主催に当たるが静岡県で開催するときは浜松市にある中日新聞東海本社が名古屋に代わって主催を勤める。

中日新聞は静岡においては浜松を中心とする遠州が主な購読地域のため、大会も遠州といわれる地域で開催してきた。

大会運営は浜松オリエンテーリングクラブが担当した。11月13日にテープ付けと試走を行い、28日に仕上げの試走を行なうなど、準備を順調に進めてきた。

JOA公認大会として愛知、三重に続き3年連続の開催となり、関東関西からの交通の便も良く、申込も順調に伸びた。事前の申し込みは北信越学連や東海学園の大量申込もあり251名。M21Aの73名をはじめほとんどのクラスが2桁参加者で、盛り上がりも十分であった。エリートもなかなかの顔ぶれで楽しみが膨らんだ。

この公園はランナーのトレーニングにも良く使われるため、ランニングをするときは巾2m以上の道で行なってくださいなどの注意の張り出しが公園内のいたるところにありました。

大会は来場者へ配慮しゼッケンの着

用や来園者を驚かさないように注意して走るよう参加者に呼びかけていた。

当日は朝から好天に恵まれ、順調に競技が進められました。最終コントロールからは参加者が陣取る会場脇を走ってゴールするので、大きな声援が飛んでいた。

東海選手権は最高クラスで最も良い成績を上げた東海4県の競技者登録が表彰された。男子は名古屋大学の松井健哉選手が初タイトル。女子は朱雀OKの加納尚子選手が1年分2回目のタイトルを獲得した。

(写真は上林弘敏さん提供)



参加賞のおいしい三ヶ日みかんと賞状を手にするWE 2位加納・優勝皆川・3位関谷



ゴールに向かってコーナーを回る宮川早穂 (WE 8位)



東海選手権は加納尚子と松井健哉